

## 旅

たび

### ボヤンヒシグ

僕が生まれて初めて地球儀を目にした時のことである。世界はこの小さなボールに乗っている、と先生が言っていて、それを僕にプレゼントした。〈世界…〉はここだとずっと思われた草原の上に立って、他に「世界は…」と聴いても、それがいったいどのくらい大きいものか、さっぱり分からなかったけれど、〈世界〉を僕の震える手で回してみた。意外に軽く、速く回っていた。何かを征服したような妙な快感が僕の全身を走った。

でも、その地球儀で自分の田舎の位置を確かめようといくら探してみても、名前さえ載ってなかったのが不思議だった。だいたいのところ、ここだとマークを付けたのは、旅から帰ってくる時、道に迷わないようにと、考えたからだろうか。

それから、その右側へ、つまり東へ目を移す。これは僕たちモンゴル人が、毎朝起きてからかならず先に東を見る習慣に由来する。そこには海があり、蒼い蒼い海原の上に細長い島が浮かんでいた。その上に〈日本〉と書いてあった。モンゴル語でいう〈ナラン ウルス〉(太陽の国)である。その東にさらに限りなく広がる海を見て、僕はすこし心細くなり、太陽が出てくるという〈島〉のところに思わず目を落とした。

想像力は躍動する——“ナラン”という名の巨大な〈鳥〉がそこに〈巣〉を持っているのだ。“ナラン”が巣を出て、草原の空を西へ西へと向かって飛ぶのを追って行けば、この太陽の国にたどり着くのではないか——。

この三十年も昔の心の旅は、いつしか言葉の旅になっていた。

僕は八年間、日本に〈巣〉を持って、日本語あるいはナラン弁で色んな〈鳥〉たちと共に囀っていた。言葉は僕の中に〈巣〉を持っていて、その力で僕は旅している。われわれの言葉はまるやかな宇宙儀であるのだ。宇宙の無限を様々な言葉でまらめて、その上に無数の経緯を描くのが、つまりコミュニケーションである。

今は日本を後にして三年目だが、日本語がさっぱり分からない人と話している時、突然口から日本語を零すことがある。特に慌てる時はそうだ。記憶にしっかりと焼き付けられた一つひとつの単語が一本一本の綺麗な羽毛だろうか、または内側から射してくる一本一本の光線だろうか。

日本語で磨いた僕の宇宙儀がいつも僕の深層の中に回っていることは確かだ。時にいくつかの単語が自然に零れることは自分に対するある種の確認であり、旅の途中で描く美しいマークでもある。

(詩人)  
しじい

■ 表紙エッセイ <b>旅</b> ボヤンヒシグ (詩人)	
■ <b>海外日本語教育レポート 第6回</b> ..... 3 <b>ロシアにおける日本センターの日本語講座</b> ミルビス日本センター日本語講師/モスクワ国立言語大学通訳翻訳学部日本語学科主任講師 カメリナ・タチヤナ	
■ 国際交流基金事業紹介 ..... 6 <b>「日本語教育フェロシップ」(2)</b> 日本語国際センター制作事業課・情報交流課	
■ 日本語・日本語教育を研究する 第23回 ..... 9 <b>言語学習のメカニズムと Focus on Form</b> 小柳 かおる (上智大学助教授)	
■ 新聞・雑誌から見る現代日本 第16回 <b>中・上級</b> ..... 11 <b>正社員へ道遠く</b>	
■ 写真で見る日本人の生活 <b>初・中級</b> ..... 14 <b>「お大事に」……病院へ行く</b>	
■ 授業のヒント ..... 16 <b>楽しい漢字の練習</b>	
■ 本ばこ (新刊教材・図書紹介) ..... 18	
■ 授業に役立つホームページ 第7回 ..... 21 <b>キッズウェブジャパン (日本語版)</b>	
■ 文法をやさしく 第7回 ..... 22 <b>V<sup>1</sup>のためにV<sup>2</sup>/V<sup>1</sup>ようにV<sup>2</sup></b>	
■ ニュース ..... 24	

※   は、読者が教えている生徒のレベルを示します。

※本紙全体で、ルビが文字の下に付いているのは、紙や物差しなどでルビを隠して、漢字の読みの練習ができるようにするためです。

### 編集部から

日本で学ぶ外国人留学生が書いた詩、エッセイ、短編小説を対象とした「留学生文学賞」という賞があります。これは、今号の表紙エッセイを書いたボヤンさんの『懐情の原形～ナランへの置手紙～』(英治出版、2000年。本書は全文を [http://www.eijipress.co.jp/reading\\_online/0001.asp](http://www.eijipress.co.jp/reading_online/0001.asp) にて無料で公開しています。)がきっかけとなった文学賞です。同書は、ボヤンさんの文章に魅入られた日本人関係者が出版のために出資をつのり、異例の速さで刊行された後、マスコミで取り上げられたこともあって初版5,000部が完売、その印税全額がボヤン賞(現「留学生文学賞」)の創設に充てられました。昨春の第2回選考会は、関係者の手弁当での開催だったようですが、やはりボヤンさんのように日本語で何かを表現しようと試みている留学生を励ますことはもとより、日本文学の可能性を広げる一助ともなる貴重な活動となっています。

同賞の詳細については、ウェブページ <http://www.ryubun.org/> でご覧になれますが、ここで2003年度を受賞作品の一つ、中国の李洋陽さんの「冬」を簡単にご紹介したいと思います。これは、多くの私費留学生が直面している様々な場面を、ある留学生の一日を通して鮮やかに描き出した作品です。アルバイトに追われ、中国人というだけで受ける謂われのない扱いや、日本と母国との経済的な格差

などを例に、留学生が経験する普遍的な一面と、留学先が日本であるからこそその特殊な一面とが活写されています。彼女の作品を読むと、現在約8万人と言われる各国からの留学生が少しでも日本滞在について肯定的な思いを抱けるようになることを願わずにはいられません。一方で、多くの日本人もそれぞれが毎日の生活に追われ、そんな留学生たちに思いを巡らす余裕を持ってないのではとも感じています。「忙」という漢字は「心を亡くす」という会意ですが、忙しさにまぎれて他者と交わる心や周囲の出来事から何かを感じる心を亡くさないようにしたいと自戒をこめて思います。最後に、おそらく「冬」に描写されたのと同様に忙しく厳しい生活を送りながら、上述の『懐情の原形』を書き上げられたであろうボヤンさんに、心からの敬意を表します。(tt)

### 表紙エッセイプロフィール

**ボヤンヒシグ** (宝音賀希格)

詩人。中国内モンゴル自治区生まれ。内モンゴル大学モンゴル語文学部卒。95年来日。法政大学大学院日本文学専攻修士課程修了。著書に『天の風』(モンゴル語)、『わたしはモンゴル人』等。その他、「編集部から」に詳述。

### 記

今号のエッセイでは、通常の辞書には載っていない言葉がいくつもありますが、詩人である執筆者の選語を尊重し、そのまま掲載しました。



# 海外日本語教育レポート

第6回



ミルビス日本センター日本語講師/

モスクワ国立言語大学通訳翻訳学部日本語学科主任講師

カメリナ・タチヤナ

このコーナーでは、海外の日本語教育について広く情報を交換したり、お互いの交流をはかるために、各地域の新しい試みやコース運営などについて、関係者の方々に具体的に紹介していただきます。

## ロシアにおける日本センターの日本語講座

—ミルビス日本センターを中心に—

### ロシアにおける日本センターの紹介

1991年のソビエト連邦崩壊は、旧ソ連諸国を混乱の渦へと陥れました。この混乱から立ち直る改革の一つが「市場経済への早期移行」であり、それを推進するための支援として日本政府によって日本センター開設が構想されました。そして1994年にその第一号であるミルビス日本センターがモスクワに開設され、その後2001年までにロシア6都市に全部で7つの日本センター（ハバロフスク、ウラジオストク、サハリン、モスクワ/2ヶ所、サンクトペテルブルグ、ニジニーノブゴロド）が開かれました。日本センターの活動



カメリナ講師授業風景：日本人助手とともに

の中心は、市場経済化の過渡期にあるロシア企業で幹部およびその候補を育成しようとする「ロシア企業経営者養成計画」への協力事業（現地でのビジネス講座・訪日研修）、地域のニーズに合わせて各センターが企画・開催する現地企画ビジネス講座、日露のビジネス推進を目的としたビジネスマッチング、訪日研修生同窓会活動の支援、日本語講座などとなっています。

日本語講座はビジネス講座と並ぶ日本センターの看板講座で、年々受講希望者が増え続けています。2003年度は全センター合計で775名が厳しい入学試験に合格し、全37クラスに分かれて授業を受けています。日本センターにおける日本語講座は、「日本語でコミュニケーションできる人材を育てる」ことが目標なので、ロシアの伝統的外国語教授法である文法力と読解力を中心に教科書通りに教える方法とはかなり違っています。会話練習、表現練習、ビデオやカセットを使った聞き取り練習に多くの時間を割り当て、「読み・書き・聞く・話す」の4技能をバランスよく伸ばし、実際に役立つ日本語の習得を目指しています。全センターが、日本センター独自のガイドラインに沿ってカリキュラムを設定していますから、各センター一間の能力差が少なく、転勤や引越などで他都市に移っても、その地の日本センターで学習継続が可能であるというのも、ロシアの他の語学学校にはない特徴の一つです。また日本語だけでなく、日本の音楽、文学、映画、華道、茶道、日本食など日本文化に興味を持つ受講生のニーズに応えるべく、センター主催で生け花教室、折り紙教室、日本の歌を歌う会を行ったり、在外公館主催の日本文化行事や講演会を案内して、日本文化を体験する機会を提供しています。図書館を受講生のために開放し、彼らが日本関係の図書を閲覧できるサービスもあります。



## ミルビス日本センター日本語講座の紹介

近年ロシアでは日本への関心が年々高まってきており、ここ3年ほどの驚異的な日本食ブームの影響もあってか、日本文化に興味を持つ人が増えているようです。1990年代前半、モスクワにはたった3軒の日本料理店しかなく、しかもこれらは非常に高かったので利用者は限られたごく一部の人のみでした。それが今ではモスクワの日本料理レストランは100軒以上となり、私達ごく一般の人々が日本食を楽しめるようになってきているのです。そのような状況を反映してか日本への関心も一層高まり、当センター日本語講座受講希望者も増えてきており、また受講生のモチベーションも高くなりました。私達の日本語講座は高等教育機関と違い、言語学者育成が目標ではありません。日本語を通じて日本への理解を深めたりビジネスチャンスを広げたりすることを最重要課題としています。ですから私達は会話力を重視しており、これが当講座の大きな特長といえるでしょう。



上級クラス授業風景

さてミルビス日本センター日本語講座について、少し詳しくご案内しましょう。以下は今年度（2003年度）の数字です。

- ① 講師数：ロシア人講師4名、日本人講師1名、日本人助手2名
- ② 受講生数：計205名（初級Ⅰ-Aクラス26名、初級Ⅰ-Bクラス32名、初級Ⅱ-Cクラス14名、初級Ⅱ-Dクラス25名、中級Ⅰ-Eクラス16名、中級Ⅰ-Fクラス16名、中級Ⅱ-Gクラス20名、中級Ⅱ-Hクラス22名、上級Ⅰ-Mクラス9名、上級Ⅰ-Kクラス13名、上級Ⅱ-Xクラス12名）  
／うち学生35%・社会人65%
- ③ 期間：初級Ⅰから上級Ⅱまで6年間／9月開講・6月末修了
- ④ 授業：1週間に2日、1回2時間
- ⑤ 入学試験：毎年8月。初級Ⅰクラスはモスクワ国立言語大学作成の日本語学習能力判定問題（ロシア語文法・聴力・記憶力）を使用。
- ⑥ 受講生規則：原則的に17歳以上40歳未満（入学時）、また他の機関で日本語を学んでいないこと。連絡なしで2週間以上欠席の場合、および年間で出席率が50%以下と判明した場合はその時点で除籍。6月に実施される修了試験不合格者も除籍（継続希望者は8月に再度入学試験を受ける）。留年は6年を通して1回のみ。
- ⑦ 教材および目標レベル

	主教材 しゅきょうざい	副教材 ふきょうざい	目標レベル もくひょう
初級Ⅰ しょきゅう	「みんなの日本語初級Ⅰ」	「毎日の聞き取り 50日初級・上」他	日本語能力試験4級合格
初級Ⅱ しょきゅう	「みんなの日本語初級Ⅱ」	「毎日の聞き取り 50日初級・下」他	日本語能力試験3級正答率60%
中級Ⅰ ちゅうきゅう	「新日本語の中級」	「文化中級日本語Ⅰ」他	日本語能力試験3級正答率80%
中級Ⅱ ちゅうきゅう	「総合日本語前期」	「ニュースで学ぶ日本語パートⅡ」他	日本語能力試験2級正答率60%
上級Ⅰ じょうきゅう	「文化中級日本語Ⅱ」他	「実力アップ!聴解2級」他	日本語能力試験2級正答率80%
上級Ⅱ じょうきゅう	「上級で学ぶ日本語」	ビデオ教材「スーパーの女」他	日本語能力試験1級正答率60%

会話力を重視している私達の日本語講座では、週に1回日本人助手との会話を授業の最初に取り入れています。テキストの例文にはない生きた日本語を聞くチャンスが与えられていることは大きなメリットだと考えています。そして毎年春に行われる「ミルビス日本センター・スピーチコンテスト」では中級I以上の受講生がクラス予選（全員参加）と全学年本選（予選通過者のみ）で自身の主張を日本語で披露してくれます。そのために冬のうちから受講生・講師・助手が丸となって準備に入ります。また6年間一貫教育システムですので講師・助手と受講生そして受講生同士の間で心が通い合い、みんなで励ましあひながら頑張っています。そうした結果として受講生達の心の絆が固くなり、日本語を使うアルバイトを共有しあったり、日本関係の文化フェスティバルと一緒に出かけたりしています。

日本人助手との会話実践練習  
にほんじんじょしゅのかいわけんせんれんしゅう

卒業試験の前には皆緊張して、必死に準備をします。卒業試験といえば、課外試験「日本人留学生をトレチャコフ美術館に案内する」は好評で、その時に会った日本人とその後も交流を暖めていくケースもあります。入学後、最終的に揃って卒業できるのは60%程度です。そして卒業生達は日本語講座同窓会に入りますが、全センターの中で日本語講座の同窓会があるのはミルビス日本センターのみです。同窓会は活発に活動しており、3ヶ月に1度はセミナーが開かれたりして、日本への関心が失われることはありません。このように受講生は卒業後も同窓生として一堂に集まり、日本に関するテーマで議論したりしているのです。これら同窓会主催セミナーへは現役の日本語講座受講生が授業の一環として聴講することもあります。日本語や日本文化、つまり日本への愛情が同窓生をいつまでも結びつけているようで、私はとても嬉しく感じています。

受講生には日系企業や日本との貿易などに携わっているロシア企業から勉強しにきている人もいます。当講座で2年間日本語を学んだことが評価されこの夏から東京で働いているカーチャさん（三菱自動車）、日本人の上司や同僚と話がしたくて熱心に授業に通うのはアレクサンドルさん（オリンパス）。ジーマ君は6年間の講座を優秀な成績で卒業し、今は日本の通信社（共同通信）で活躍中です。日本料理レストランのマネージャーであるアンドレイさんは覚えてばかりの日本語を活かして、早速魚の買い付けに成功したそうです。華道や剣道などの師範であったり、配偶者が日本人だったり、日本語を使う仕事をするために語学を身につけようとしていたり…。受講生は様々ですが、皆とても熱心に学習しています。彼らの努力・実力が評判となり、最近では在モスクワの日系企業が当日本語講座卒業生および受講生に対して高い関心を示し、求人も急増しています。彼らが日本とロシアの架け橋になるような仕事に就くのを見ることは私の喜びでもあります。

書道体験  
しょどうたいけん

モスクワにお越しの際はぜひミルビス日本センター日本語講座に立ち寄り、雰囲気の良い講座をのぞいて下さい。お待ちしております。

ミルビス日本センターURL : <http://www.jcenter-mirbis.co.ru>



国際交流基金事業紹介  
こくさいこうりゅうききんじぎょうしょうかい

日本に滞在して教材やカリキュラムを開発する  
にほんにたいざいしてきょうざいりょうかいかりきゅらむを開発する

# 「日本語教育フェローシップ」(2)

にほんごきょういく

～小学生用日本語教科書の作成：曾麗雲氏へのインタビュー～  
しょうがくせいようにほんごきょうかしょさくせいそれいうんしへのインタビュー

日本語国際センター制作事業課・情報交流課  
にほんごこくさいせいさくじぎょうかじょうほうこうりゅうか

『日本語教育通信』第46号で、「日本語教育フェローシップ」(1)として、フェローシップの目的や採用条件などの概要を紹介しました。今回は同フェローシップが高い成果を上げた例の一つとして、「小学生用日本語教材の制作」というプロジェクトのため、中国から来日されていた、曾麗雲氏(遼寧省基礎教育教學研修センター所属)へのインタビューを掲載します(インタビューは2003年4月に行いました)。



曾先生  
そせんせい

## <小学生向け日本語教科書制作プロジェクト開始の背景>

Q: まず、曾先生が、中国の小学生用の日本語の教科書を作るようになったきっかけと背景を、お話しいただけますか。

A: 中国では、政府の指示で、小学校での英語教育が2001年から始まりました。実は、それ以前から、条件の整った学校では英語や日本語などの外国語教育は行われていましたが、これほど全国レベルではありませんでした。ですので、日本語教育は英語教育に追いやられてしまうのではないかという危機感がありました。また、私は遼寧省基礎教育教學研修センター(注1)の一人として、学校現場をよく視察するのですが、大連市のある小学校に行ったときに、実際に教師や生徒たちから、今ある日本語の教科書は「面白くない、いくら勉強しても話せるようにならない」という声を聞き、コミュニケーション力を重視した教科書を作りたいと思うようになりました。幸い、国際交流基金北京事務所からも様々な助言をいただき、また私の所属先からも許可を得ることができたので、このプロジェクトが始まったのです。

## <フェローシップ申請前の仕事～試用版の作成～>

Q: 今回、制作された教科書は、小学校3年生から6年生が対象ですね。この教科書を作るにあたっての指針は、どのようなものだったのですか？

A: 中国でのこれまでの日本語の教科書は、ただ言葉を教えることを目的としたものですが、今度作る教科書では、言葉を通して、同じ年代の子供達の生活ぶりとか行動パターンとか言葉遣いとかを教えたい、そう思いながら、今まで出た小学生向けの英語や日本語の教科書、例えば『楽しい英語(快乐英语)』(遼寧師範大学編集/遼寧師範大学出版社/1997年)とか、『ひろこさんのたのしいにほんご』(根本牧、他著/凡人社/1986年)、『たのしいこどものにほんご』(山田伸子著/大新書局(台湾)発行 凡人社発売/1992年)などを参考にしながら、アイデアを固めていきました。そうして作り上げた試用版を、現場で1年間使ってもらい、2～3回修正を加えながら、教科書の原稿を完成させていきました。

Q: その最初の試用版を作るのに、どのくらいの期間がかかりましたか？

A: 2001年4月に作り始めたのですが、その年の9月から試用版を学校で使い始めようとしていたので、印刷のための時間もあって、原稿を完成させて入稿したのは7月末でした。つまり、3ヶ月半で作り上げたことになります。

Q: そんなに短期間だったのですか。曾先生は、これまで教科書を作られた経験があったのですか？

A: 中学生向けのヒアリング教材を作って、出版したことがあります。それから、国レベルでの高校の日本語科の学習要領を作る仕事にも参加してきましたので、今回教材を作る時も、できるだけそうした学習要領(当時、すでに存在していた小学校英語の学習要領と義務教育課程の日本語学習要領)に添って作ろうと試みました。

Q: 実際出版された『小学日語教材』は、中国語表記は巻頭と巻末の数ページだけで、中味の大半は日本語だけで作られています。これは、全ページにカラーのイラストをたくさん入れることで、子供達に理解させようという方針ですね。これらのイラストも試用版の時から入っていたのですか？

A: 試用版の時は、白黒印刷で、イラストも魯迅美術学院の学生さんに頼んで描いてもらったものです。場面設定や登場人物は出版したものと同じですが、絵の感じは随分違います。イラストを描く学生は、日本語はわからないし、日本の雰囲気とかも知

らないので、こちらの思うような絵を描いてもらうのは大変でした。いろいろ考えた末、登場人物は、中国に住んでいる日本人の子供をモデルにすることにしましたのです。

### <来日してから～日本の小学生の協力～>

Q：フェロシップを2度受けられています、2回とも来日の大きな目的は、『小学日語教材』に付いている音声テープの制作でした(注2)。

A：はい。プロジェクトの初めから音声テープは、子供の声にしようと思っていました。

子供は言葉ができなくても、雰囲気で心が通じる場所がありますから。フェロシップ担当の制作事業課の尽力で、日本語国際センター近くにある小学校の子供達に、歌や会話の収録に協力してもらいました。子供達は、皆とても歌が上手で、またとても楽しい雰囲気録音できたので良かったです。実際に、この音声テープは大好評で、中国の子供達も皆とても喜んで聞いています。

また、音声の録音だけではなく、今の子供達の言葉遣いも大いに参考にさせてもらいました。『小学日語教材』は、なるべく自然な子供の言葉で編集しようと思っていたので、子供達が実際にどんな言葉を使って自分の言いたいことを表現しているか、収録を手伝ってくれた子供達に聞いて決めたいです。

Q：たとえば、どのようなことがありますか？

A：子供が、友達に自分の妹を紹介する時どうしますか？「この人は私の妹」じゃ、ちょっと大人っぽいでしょう。今の小学生に聞いたら、「これ」だったんですよ。

「これ、ほくの妹」「これ、ほくの妹だよ」と言うんですね。他には、日本人の家に行った時に、家の方が言う言葉は、「どうぞお上がってください」であると私たちは習ったのですが、これも今の子供達に聞いてみると、「お入りください」の方がよく使われているみたいなんです。今の子供達が住んでいるのは、一軒家よりマンションの方が多いですし、また学校でも「お入りください」ですから。

Q：そうですね。玄関の上がりかましが、マンションだと大分低いんですね。上がるって感じじゃなくなっていますよね。

A：やっぱりね、言葉の使い方は、日常生活が変わるにつれて変わるものですから。



会話収録風景：日本語国際センターにて



歌の収録風景：日本語国際センターにて

### <歌曲の掲載と著作権>

Q：『小学日語教材』は、試用版の時よりも、ずっとたくさんの子供の歌が入っていますね。

A：ええ。でも、著作権の問題があって、歌詞は掲載できたのですが、楽譜を載せることはできなかったのです。楽譜を入れようとすると、著作権はちょっと面倒です。

Q：著作権者との交渉は、日本に来てからされたのですか？

A：はい。でも、私は著作権のことがよくわからなくて、このプロジェクトの協力団体である(財)国際文化フォーラムにだいで助けてもらいました。

Q：著作権料を払うような曲はあったのですか？

A：はい。第1・2冊の時は、民謡とかかわらべ歌とか作者不明のものが多かったのですが、それほどお金がかからなかったのですが、第3・4冊の時は、比較的新しい歌を入れたので、少し費用がかかりました。やはり子供はだんだん大きくなって、現在の日本にも興味を持ち出す頃なので、最近の歌がいいと考えたのです。

Q：たとえば、どういう歌が入っているのですか？

A：そうですね。たとえば、ちょっと古いですが「お正月」、モシモシ カメヨ～♪の「うさぎとかめ」とかですね。「棒が一本あったとさ」という歌いながら絵を描く絵かき歌もあります。それから「今日の日はさようなら」。6年生くらいの子供にもは、詞の内容として、これからの夢とか、自分が何になりたいかとかを入れる必要があるのです。そうしたこともあわせて考えました。

### <フェロシップ終了後、実際に出版するまで>

Q：実際に、出版する際は、国際交流基金の他の助成プログラムを利用されたのですよね？

A：はい。「日本語教材制作助成」(注3)というプログラムに申請しました。これは、出版経費の半分までを助成すると申請案内に書いてあったので、第1・2冊発行のための出版経費600万円の半分を申請しました。残りの半分は出版社に負担してもらうこと

とにしていたのですが、最終的に助成してもらえるのが150万円という通知が来たので、出版社との間で問題になり、それから慌てて資金集めに走り回ることになりました。結局、(財)国際文化フォーラムがいろいろと動いてくれて三菱銀行国際財団とともに援助をしてくれました。他にも経費削減の工夫をしたりして、なんとか出版することができたのです。



小学日語教材 第三冊 P22-23  
しょうがくにう ごきょうざい だいさんさつ

Q：原稿ができて、出版できるまでが、また大変なのですね。  
A：はい。教材を編集する仕事は自分の力でできますが、それ以外のことは、私一人の力ではどうしようもないことも多くて、ハラハラしました。ちなみに、この『小学日語教材』には、他にも教師用の参考書と問題集があるのですが、参考書の方は、JICA(注4)の助成で出版しています。

Q：本当にいろいろな所から援助をもらっているのですね。ところで、最初の2冊は、それぞれ何部印刷して、いくらで販売したのですか？

A：それぞれ3,000部印刷しました。遼寧省、黒龍江省、吉林省と河南省、これら4省の小学生の日本語学習者数がだいたい3,000人くらいですから。値段は、1冊が11元、日本円で160～170円くらいです。普通の小説とかの単行本が15～17元ですから、ずいぶん安いです。音声テープの方は、テープ2本で1巻となっていて、これは教科書の第1冊分に対応するのですが、その1巻で13元です。普通の音楽テープでしたら、テープ1本で10元くらいです。

Q：ずいぶん安いですね。こんな立派なケースに入っていて、テープ2本で13元なんて。

A：ええ。中国では、教科書の値段を決めるのに、政府の制限があるのです。制限があっても、もし何十万部も売れるなら、出版社に利益が出ます。実際、英語だったら、学習者数が多いから、出版社はもうかりますね。そういう背景があるので、中国政府や省や県などが、教科書作成にお金を出そうとはしないんです。でも、日本語、特に小学生の日本語学習者は、まだまだ少ないですからね、3,000部が全部売れても赤字になってしまいます。それに、日本語を習っている子供達は、地方の、それほど裕福ではない地域の子供が多いですから、出版社がコストを回収できるような値段にしたら、ますます売れないです。

Q：でも、教科書ですから、毎年需要がありますよね。長い目で見れば、出版社も元が取れるのではないですか？

A：全ページがカラーなので、基本的な印刷費用がけっこうかかります。1回の発行が3,000部程度だと、出版社はやはり赤字なのです。

Q：そうですか。日本語を勉強する子供が増えなければ、出版し続けることさえ困難という感じですね。中国の他の省でも使うようになれば、出版社も積極的になるのかもしれないですね。

A：ええ。中国全土に宣伝するための方法が限られているので、急激に発行部数を増やすのは難しいのですが、国際交流基金や(財)国際文化フォーラムの広報物などで宣伝してもらったりして、今努力しているところです。もし、この記事を読んで、『小学日語教材』を入手したいと思う方がいたら、是非出版社である遼寧少年儿童出版社(辽宁少年儿童出版社)にご連絡ください(Tel: 0086-24-23284269 Fax: 0086-24-23284272 E-mail: sezbs@mail.lnpgc.com.cn)。

Q：こうした良質の日本語教材が、現地で発行され続けることを願っています。今日は、どうもありがとうございました。

<p>注1：日本の教育委員会のような組織で、小中高校の教授法研究や教員研修を行っている。</p> <p>注2：曾先生は、平成13年(2001年)度と平成14年(2002年)度の2度にわたり、それぞれ数ヶ月のフェローシップを受けられました。1回目は、第1冊と第2冊の作成、2回目は続編の第3冊と第4冊の作成のための来日でした。</p> <p>注3：一年以内に出版が確実な教材などについて出版費の一部を助成する</p>	<p>プログラムです。助成金の上限は、基本的には全経費の1/4ですが、いわゆるODA地域については1/2となっています。ただし、いずれの場合も200万円を超えることはなく、さらに状況に応じ金額が査定されます。近年は予算が厳しく最高でも150万円の助成額となっています。</p> <p>注4：独立行政法人 国際協力機構(元、国際協力事業団)</p>
---	---

～制作事業課より～

「日本語教育フェローシップ」「日本語教材助成」双方とも、全世界からの申請を毎年12月に受け付け、専門家による客観的な審査に加え、教材の「必要性」「有効性」や地域バランスなどを配慮しながら採否を決定します。今回紹介する曾先生のプロジェクトは、2回にわたってフェローシップを受け、教材制作助成も受けた稀なケースですが、申請のつど厳正な審査を受け、その重要性和内容的な価値が認められたものです。一般的に、国際交流基金の支援はプロジェクトにとって補完的な役割しか果たせませんので、申請の際には、プロジェクトの内容面だけでなく、国際交流基金以外の支援機関も確保するなど、体制面・費用面でもしっかりした計画を立てておくことをお勧めします。



# 日本語・日本語 教育を研究する

第23回

このコーナーでは、これから研究を目指す海外の日本語の先生方のために、日本語学・日本語教育の研究について情報をおとどけしています。今回のテーマは「言語学習のメカニズムと Focus on Form」です。

## 言語学習のメカニズムと Focus on Form



上智大学助教授 小柳 かおる

### 1. Focus on Form とは

第二言語習得 (Second Language Acquisition, 以下 SLA) 研究には、学習者の脳の中で何が起きているのかという言語学習のメカニズムを明らかにしようという研究分野があります。そして、そのメカニズムを活性化する教室指導とは、「学習者が意味のある伝達活動を行う中で必要に応じて言語形式にも注意を向けさせる」ことだと言われるようになりました。これが Focus on Form (FonF) という考え方です。

#### (1) 教室習得研究の流れ

20 数年前に Krashen が、教室の文法学習は本当の習得にはつながらないと主張したことは、大きな論争になりました。彼の理論を基に考え出されたナチュラル・アプローチは、インプットを多く与え、文法の正確さよりも自然な発話の流暢さを重視した教授法として、特に北米で広まりました。しかし、一方で、SLA では「教室指導は習得につながるか」という研究がなされるようになりました。今では教室指導は、学習のスピードを速めること、高い言語能力を身につけさせることができるという点で、自然習得にはない強みがあることがわかっています。それで、次に「どんな指導のタイプがより効果的か」ということに研究の関心が移りました。そして、指導のタイプを区別するために、FonF という考え方が出てきたのです。

#### (2) 指導のタイプと SLA

FonF と比べられるのが Focus on Meaning (FonM) と Focus on Forms (FonFS) です。ナチュラル・アプローチやイマージョンに代表される FonM は、意味重視でコミュニカティブに言語が教えられますが、これは流暢さを身につけることはできても、文法の正確さが身につかないとされていま

す。FonFS とは、オーディオリンガルや文法訳読法など文法シラバスに基づいたやり方です。

こちらは文法的正確さを重視していますが、このやり方では学習したことが長く残らない、流暢さが身につかないとされています。それで、FonF は流暢さと正確さの両方を同時に伸ばせるやり方として期待されているのです。FonF は FonM のように意味重視ですが、その中で学習者の注意が言語形式にも向くように色々なテクニックを使おうとしています。

### 2. Focus on Form の方法論

#### (1) Focus on Form のテクニック

FonF は伝達能力の習得を目指したものですから、学習者が何よりも意味のある伝達活動を行えるような指導方法をデザインする必要があります。その中で言語形式に注意を向けさせるのですが、はっきり注意を向けさせるのではなくて、学習者の言語使用の認知過程のじゃまをしないで自然に行うことが大切です。ですから、意味ある伝達活動を中断して文法説明を始めたり、機械的なドリル練習をすることはタブーだと考えられています。FonF の研究者達は、意味のあるコンテキストを与える方法としてタスク中心の教授法 (Task-Based Language Teaching: TBLT) も提唱しています。

FonF の一つの方法として、インターアクションにおいて伝達上の問題が起きた時にフィードバックを与えることがあげられます。特にリキャストは、学習者の言いたいことはそのままにして間違っただけを直して繰り返す暗示的なフィードバックで、インターアクションの流れを止めない自然なやり方です。

例 学習者：図書館に勉強します。

教師：ああ、図書館で勉強するんですか。  
また、文字によるインプットでは、学習者に読ま

せるテキストの中で、注意してほしい文法項目に下線を引いたり、枠で囲んで強調する方法もあります。

例 高校生の時、遠くの学校まで電車で通学していた。

タスクをデザインする時に、ある言語形式を使うことが必須あるいは自然であるようなコンテキストを考えたり、認知的に難しいタスクを考えることも必要です。例えば、あまり知らない土地の地図で道案内をすることは、自分の住んでいる町で道を教えるより認知的に難しいことですが、そのようなタスクの時に学習者は頭を多く使い、言語形式にも注意が向くのではないかと考えられています。

## (2) Focus on Form の研究方法

FonF にはいくつかのテクニックが考えられますが、どんな時にそれが有効なのかを実験で調べるのが、FonF の研究です。何かの FonF 指導をして、その効果を事前テストと事後テストのスコアの変化で調べるのです。リキャストが SLA に有効かを調べるためには、インターアクションの中でリキャストをしたグループ、リキャストをせずにインターアクションだけを行ったグループ、何もしなかったコントロール・グループを比較します。もし、リキャストをしたグループのテストのスコアの伸びが大きければ、リキャストは効果があることになります。そのようなことを統計で分析するのです。

また、FonF がいつ、どのようにして SLA に効果をもたらすのかを考えるためには、学習者の頭の中で何が起きているかを考えなくてはなりません。学習者にとって第二言語を使うということは、伝達場面での言語運用ですが、同時に脳の中では言語学習も進行しています。第二言語の能力が低い場合は、自分の注意や記憶などの認知資源を十分使うことができません。そのような学習者の認知的な制約を考える必要があるのです。FonF の有効性を研究する上では、言語学だけでなく認知心理学の知識も必要です。このような研究の目的は、言語習得における学習メカニズムを明らかにすることにあります。学習者がどう学ぶかがわかれば、つまり、どう教えるべきかもわかってくると思うのです。

## 3. 日本語の Focus on Form 研究の意義

FonF の研究は、北米だけでなくオーストラリアやヨーロッパなどでも行われています。日本語に関する研究は日本国外にはありますが、国内ではまだあまりありません。しかし、日本語教育の関係者の間で SLA 研究の重要性、必要性を説く声はかなり高く、FonF のような研究は、日本語教育にもきつと役に立つ研究だと思っています。日本語教育では記述

的、観察的な SLA 研究が多く、習得のモデルが正しいかどうか実験をして証明していくタイプの理論研究があまり行われてきませんでした。FonF の研究が進めば、日本語教授法の基礎科学の役割を果たす可能性があると思います。

日本語教育で使われている教科書は、以前に比べると言語の機能やコンテキストをよく考えて作られています。その多くは文法シラバスであり FonFS と言えます。ですから、FonF を試してみる必要があると思われます。また、日本語教育では文法から意味重視の FonM に急が変わったことはあまりなくて、FonFS の中でコミュニカティブに教えようとしてきました。しかし、年少者のイマージョン教育なども盛んになってきていて、今後 FonM のような問題が起きる可能性もあります。これからの教授法は科学的に実証されたものであるべきでしょう。

さらに、日本語についての SLA 研究から英語やスペイン語など SLA 理論全体に発信する必要もあるでしょう。一つ考えられるのが、日本語の構文における話者の視点や態度です。挿入句や副詞で話者の視点を表す英語などに比べると、日本語は構文レベルでそれを表現することが多いと考えられています。やりもらいや迷惑受身などはそのいい例です。学習者は文型の中に感謝の気持ち（例 先生は推薦状を書いてくださった。）や迷惑な気持ち（例 きのう夜遅く友だちに來られた。）を込めなくてはなりません。これらの文型は初級で出てきますが、上のレベルになっても自発的な発話ではなかなか使えないとされています。SLA は学習者が意味や機能と言語形式を結びつけるプロセスですが、話者の視点や態度といった機能を文構造に結びつけられるように FonF が必要だと考えられます。

言語学習のメカニズムを調べる教室習得研究が、日本語教育においても盛んになることを願っています。

## 基本的な参考文献

- Doughty, C. & Williams, J. (1998). Focus on Form in Classroom Second Language Acquisition. Cambridge University Press.
- 小柳かおる (1998) 米国における第二言語習得研究動向『日本語教育』97, 37-47
- 小柳かおる (2001) 第二言語習得研究における認知の役割『日本語教育』109, 10-19
- 小柳かおる (2002) 展望論文：Focus on Form と日本語習得研究『第二言語としての日本語の習得研究』5, 62-96

写真で見る  
日本人の生活

「お大事に」…病院へ行く

このコーナーでは、国際交流基金日本語国際センターが発行している、日本語教育用「写真パネルバンク」を使って、初中等教育機関で日本語を教える先生方が、どのように日本人の生活を紹介できるかを提案していきます。また、文型、単語、漢字は、初級の学習者でも読めるようにやさしいものを使っています。今回は、「病院へ行く」に関する写真パネルを集めてみました。

※写真下の（ ）内の数字は写真パネルバンクの中での、この写真の番号です。

病院

日本の病院には大学の付属病院や総合病院のような大きい病院と、「××医院」のような個人で開いている小さい病院があります。

大きい病院は人が多くて待つ時間が長いです。

①はある大きい病院の待合室の写真です。



①

(2-016)

診察

病気になったときによくみてもらうお医者さんのことを「かかりつけのお医者さん」と言います(文末の資料も見てみてください)。

②は病気になった人が診察を受けているところです。



②

(2-018)



## 保険証など

ほ けん しょう

初めて病院へ行くときは、保険証を持っていかなければなりません。ふつう、かかったお金の30パーセントを自分で払います。

二度目に行くときは診察券を持っていきます。

病院でもらう薬は紙の袋に入っています。

薬袋  
くすりぶくろ

③



保険証  
ほ けん しょう

(2-017)

## お見舞い

み ま

病院に入院している人に会いに行くことを「お見舞い」と言います。

花を持っていく場合は、根があるものは避けましょう。「根(が)付く」は「寝付く」を思いおこし、病気が長びくと考える人もいます。

病気になった人と別れるときによく使うあいさつは「お大事に」

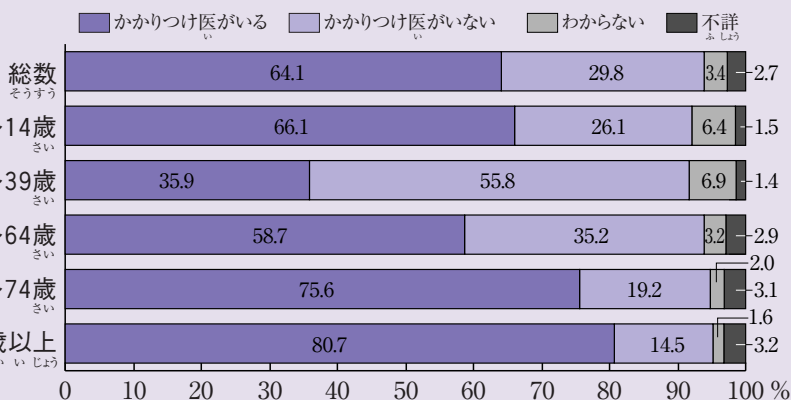
④ です。

(2-021)



資  
し

料  
りょう



厚生労働省大臣官房統計情報部

こうせいろうどうしやうだいいんかんぼうとうけいじやうほう

平成11年受療行動調査の概要

へいせい ねんじゆりやうこうどうちやうさ がいよう

「かかりつけ医師の状況」より

い し じやうきやう

URLは、2003年11月時点のもの

ねん がつ じてん

<<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jyuryou/00/>>

saikin/hw/jyuryou/00/

# 授業のヒント

みなさんの学習者は、覚えた漢字の形をすぐ忘れてたり、書く練習をいやがったりしていませんか。今回は、授業の中で習った漢字や熟語を楽しく書きながら記憶を強化する練習を3つで紹介します。

## テーマ 楽しい漢字の練習

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単調になりがちな漢字の練習を楽しく行う。</li> <li>・漢字のつくりや画数や書き順にも注目させる。</li> <li>・熟語を増やす。</li> </ul>
学習者のタイプ	・初級から上級
クラスの数	・何人でも
準備するもの	・ワークシート、黒板

### ◆漢字計算

漢字は一度学んだだけでその形を記憶しておくのはなかなか大変です。しかし、部首の組み合わせでできている漢字もたくさんあり、そのことを利用すれば、簡単には忘れなくなります。

<準備> まず、次の例のような漢字の計算問題を考えて黒板に書くか、ワークシートを用意します。足し算は引き算に、掛け算は割り算の問題にもできます。

#### ●例) 漢字の部首の組み合わせを使った計算問題

足し算 (引き算)	日+月 = (明)
	木+一 = (本)
	木+人 = (休)
	白+一 = (自、百)
	夕+口 = (名)
掛け算 (割り算)	木×2 = (林)
	木×3 = (森)
	口×2 = (回)
	口×3 = (品)
	夕×2 = (多)

#### <手順>

1. 例題の問題をいくつかやって、計算のやり方を説明

します。

2. 学習者にその問題を提示して答えを考えさせます。
3. クラスで答えあわせをします。この時、「人」のように部首になると形が少し変わるものがあることやそれぞれの部首の大きさが変わることにも注目させてください。また、答えは一つの場合も、複数になる場合もあります。

#### <アドバイス>

活動の形態としては、学習者が一人で答えを考えるのもいいですが、ペアやグループになって答えを考える活動にしてもいいでしょう。また、先生がいくつかの例を示したあとで、学習者に計算式を考えさせ、互いの問題に答えるという活動にすることもできます。

さらに、漢字の部首だけでなく、すでに習ったカタカナを利用して漢字の計算問題を作ることもできます。たとえば、「夕+口」はカタカナの「夕+口」の足し算と考えることもできます。カタカナの計算の例をもう少し紹介してみましょう。

例) イ+ヒ = 化 (足し算)

ヒ×2 = 比 (掛け算)

このように、漢字を分解して覚えると、覚えやすいですし、また、次に新しい漢字を導入するときにも、学習者がそのような見方で漢字をみるようになるので効果的です。

### ◆漢字じゃんけん

このゲームは、元々、アメリカの日本語教師マーレンさんのアイデアです。オーストラリアの『Obento』という教科書の中にも似たようなゲームが紹介されています。今回はそれに、本コーナー担当者が少しアイデアを付け加えました。漢字の画数や書き順にも注目させて書きの練習をさせたい人におすすめのゲームです。今回は、五画までの漢字を取り上げてみましょう。

<準備> 勉強した漢字を画数でまとめたワークシート、

黒板

#### <手順>

1. 勉強した漢字を画数でまとめたワークシートを配ります。

2. 教師は、一画から五画までの習った漢字を学習者にあげさせて、それを黒板に書きます。その時、教師は、本当にその漢字が指示した画数の漢字であるかどうかを確かめるように書きます。

一画 いっかく	一 いち
二画 にかく	二、人、入、七、八、九 に ひと にゅう なな はち きゅう
三画 さんかく	三、口、川、山、土、万、千 さん くち かわ やま つち まん せん
四画 よんかく	火、水、五、六、円 ひ みず ご ろく えん
五画 ごかく	四、半 よん はん

注：上記は教師が黒板に書く図です。生徒用のワークシートは右側が空欄になっています。

3. 黒板にそれぞれの画数の漢字が全部出たら、今度は、生徒がペアになって一枚のワークシートに漢字を二人で書いていきます。このとき、Aさんは青いペン、Bさんは、赤いペンを持ちます。
4. 一画毎に、じゃんけんをして、勝った人がワークシートに一画の漢字から一画ずつ漢字を書いていきます。



5. 最後の漢字まで書いたら、ゲームは終わりです。そして、できるだけたくさん画数を書いた人の勝ちになります。

#### <アドバイス>

この練習の前半は、習った漢字の総復習にも使えますし、新しい漢字の書きの導入にも使えます。そして、後半は、じゃんけんをやりながら書きの練習をすることになります。漢字が書き順や字形も含めて正しく書いているかどうかは、ペアワークの間、先生が回ってチェックするとよいでしょう。この時、ふたりが違う色のペンで書いていると、だれがどこで間違えているかをチェックすることができます。また、学習者も一画、一画を意識できたり、お互いに間違いを見つけやすくなります。

## ◆熟語しりとり

このゲームは、熟語の後ろの漢字で始まる熟語をつなげていくゲームです。漢字熟語をたくさん習得した中級以上の学習者が対象となります。

<準備>クロスワードのワークシート

#### <手順>

1. はじめに、教師が一つの熟語を与え、ワークシートに書かせます。今回は、「日本」という熟語を与えてみましょう。
2. そして、ゲームのやり方を説明するため、次に学習者には「本」で始まる熟語を考えるよう指示します。
3. やり方がわかったら、学習者をグループに分け、一定時間を与え、しりとりを考えさせます。
4. 時間になったら、黒板に答えを書いてもらいます。そして熟語の読み方や意味の確認をします。一番長くて正しい熟語のしりとりを考えたグループを勝ちとします。

#### <アドバイス>

漢字の熟語を思い出すのは難しいかもしれないので、辞書を使ってもよいです。

また、以下の例のように、穴埋めをして熟語のしりとりを完成させる問題を先生が準備するという方法もあります。

「熟語しりとり」例（答えは参考文献の下にあります）

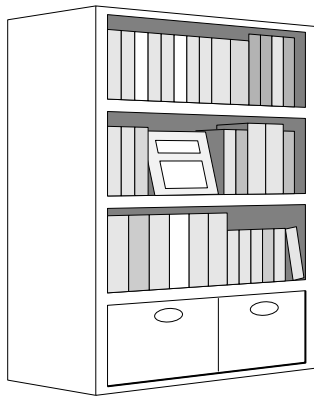
日	本			
	(1)	間		
		食	(2)	
			件	名
				(3)

#### 参考文献

1. 『Japanese for young people II. Kanji workbook』AJALT
2. 『絵でわかるかんたんかんじ 80』スリーエーネットワーク
3. 『漢字学習のアイデア』小学館
4. 『コピーして使える楽しい漢字クイズ&パズル&ゲーム』黎明書房
5. 『Basic Kanji Book 500』凡人社
6. 『漢字が楽しくなる本』太郎次郎社
7. 『漢字遊びファックス資料集』民衆社

「熟語しりとり」解答例 ①人 ②事 ③前





# 本ばこ

## —新刊教材・図書紹介—

「日本語の教材や図書に関する新しい情報がほしい」という海外の先生方の声をよく聞きます。このコーナーでは、最近出版された日本語教材や参考書を中心に紹介していきます。誌面の制約上、一回に多くの本を紹介できませんが、「海外の先生にとって使いやすい教材」「授業や研究の役に立つ本」、また、「知っている则便利な図書・資料」などを取り上げます。

※データ凡例 1 著者 2 出版社 3 刊行年月 4 ISBN 5 判型・ページ数 6 定価 7 その他

### 『毎日の聞きとり』シリーズの新しい教材

### 『中上級日本語音声教材 毎日の聞きとり plus40 上巻・下巻』

#### データ

1 宮城幸枝、三井昭子、牧野恵子、柴田正子、  
太田淑子 2 凡人社 (〒102-0093 東京都千代田  
区平河町1-3-13 菱進平河町ビル1F TEL.03-  
3263-3959 FAX.03-3263-3116 URL www.  
bonjinsha.com 3 上2003年4月7日 下2003年5  
月23日 4 上4-89358-539-8 下4-89358-540-1  
5 上B5判82ページ 下B5判84ページ 6 各2,100  
円 7 各巻 別冊本文スクリプト解答例、CD付き

この教材は、初級と中級の「毎日の聞きとり50日」に続く、新しい教材です。練習問題がある本冊と、CD、音声のスクリプトと解答例がある別冊で構成されています。内容は、比較的易しいものから順番に、上巻(1課~20課)、下巻(21課~40課)の2分冊になっています。後半に比較的長く難しい問題があり、中級から上級への橋渡しを意識して作られている点、この教材の特徴です。

#### ▽日本の文化から現代事情まで、楽しいトピックが満載

1 東と西	3
2 月の別名	5
3 前回はどんなときに聞きましたか	9
4 好きなお菓子の聞き取り	12
5 ライオンですが、笑って	15
6 昔懐かしいお菓子の聞き取り	18
7 子どもの夢	21
8 日常の言葉	24
9 100円ショップ	27
10 深淵の深淵と深淵の深淵	31
11 じゃんけん	34
12 おいさつのお話	38
13 窓からの風景	42
14 テンバンのアイちゃん	44
15 だるまさんがころんだ	47
16 寝かぬ、寝かぬ	50
17 どんなニュースに聞いて?	53
18 ちびっ子探偵、事件ですが、事件ですか	57
19 「学生服」という言葉	61
20 動物園	64

上巻 目次  
じょうかん めくじ

新聞やニュースに取り上げられた現代日本の一面を表す40のトピックが取り上げられています。練習を進めるうちに、日本の生活でよく使われている言葉や表現を学ぶことができるとともに、日本や日本人についての知識も得られます。例えば、上巻では、日本的な「風呂敷」をトピックにした課や、日本の子供の遊びに関連した「じゃんけん」「だるまさんがころんだ」などをトピックにした課があります。下巻では、現代日本事情に関連した、「結婚するなら年下?」「睡眠不足じゃありませんか」などをトピックとした課があり、新聞に掲載されたグラフやデータなどを見ながら、聞きとり練習ができるようになっていきます。

#### ▽総合的な日本語力を高めることを目標とした「音声言語教材」

この教材は、「聞きとり」に焦点をあてて作成されたものですが、「聞きとり」を通じて、総合的な日本語力を高めることができるように工夫されています。1課は、「イラスト」「聞くまえ」「ことば」「聞きましょう」「聞いたあと」で構成されています。まず、「イラスト」でこれか



ら聞く話に対するイメージをふくらませ、「聞くまえ」「ことば」で、その課で扱う話題の背景知識や関連語彙を取り上げて、聞く準備をします。そして、「聞きましょう」で、CDを聞きながら問題に答えます。I、IIの2種類の問題があり、Iは、聞きとりの方策(ストラテジー)を身につけることを目的とした練習です。IIは、内容を正確に、深く理解できるように、聞き直しながら行う練習です。「聞いたあと」には、その話題についての知識や内容を深めるための「読み物」や「一口メモ」、学習した言葉を使えるようにするための「ことばの練習」、日本語の音声的特徴をとらえ、聞くコツをつかむための「聞きとりのヒント」があります。これらをうまく組み合わせ、学習者のニーズに合った活用方法を考えたいものです。

21 節電	1
22 節電からのお知らせ	4
23 季節の言葉	6
24 あなたの英語は通じましたか	9
25 建築は強いビル	12
26 いちばん上の子は誰ですか	15
27 経済から半分の半下	18
28 英語のひびき	21
29 睡眠不足じゃありませんか	24
30 お菓子の聞き取り	27
31 確信するロボット	31
32 欠陥はメンタ	34
33 日本を知らない日本人	37
34 よみがえった日本の産物	40
35 昔の言葉	44
36 寝かぬ寝かぬ	48
37 江戸の雑学	51
38 節電や省電は必要ですか	54
39 動物園の聞き取り	57
40 動物園の聞き取り	61

下巻 目次  
げかん めくじ



P1



P2

楽しい教室活動のためのイラスト集  
たの きょうしつ かつ どう しゅう

『みんなの日本語初級 I 導入・練習イラスト集』  
に ほん ご しょ きゅう どう にゅう れん しゅう

データ

1 飯島ひとみ、芝薫、高本佳代子、村上ま  
み 2 スリーエーネットワーク (〒101-0064 東  
京都千代田区猿楽町2-6-3 (松栄ビル) TEL.03-  
3292-5751 FAX.03-3292-6195 URL www.3a  
net.co.jp 3 2003年3月20日 4 4-88319-264-4  
5 B5判90ページ 6 2,310円 7 別冊解説付き

本書は、「授業中に楽しい会話が生まれるき  
っかけとなるイラスト」を目指し、作成された  
初級用の補助教材です。

内容は、語彙と文型の「導入」、語彙と文型の  
定着を目指す「練習」、発展の活動のための「応  
用」、6～7課ごとに行う「復習」の4種類のイ  
ラスト、計88枚と、別冊の「解説」から構成され  
ています。イラストの各ページは切り離して使  
えるように切り取り線が入っています。「解説」  
には各イラストについて以下の項目がまとめら  
れているので、本書が準拠している『みんなの  
日本語初級 I』以外の教材で学習している学習  
者に

者にも利用できます。特に、簡潔で具体的な活  
動例は教師の参考になるでしょう。

学習項目/学習目標:

文型や語彙/活動の目標

内容: イラストの説明

活動: イラスト使用例とその例文やモ  
デル会話

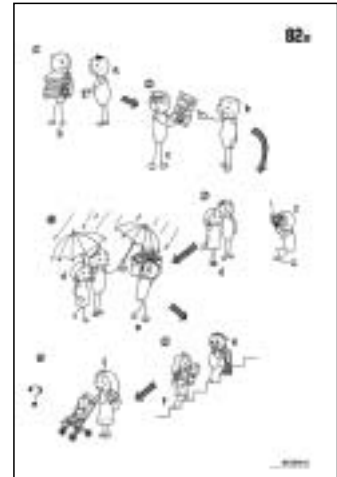
参考: 補足説明など

追加語彙: 準拠教材に加えて導入が必要な  
語彙

視覚的な素材は外国語の学習でよく利用され  
ますが、本書では視覚素材の可能性を生かし、  
楽しく印象的なイラストで新しい語彙や文型の  
理解や記憶を助けるものや、会話の展開を示し  
たり、場面設定を明確にしたりするものなど、  
さまざまです。「解説」で紹介されている活動も、  
日常生活ですぐ役立つ場面設定のものから、日  
本事情や異文化理解につながるものまで種類が  
豊富です。

また、二次的な利用法としてですが、たとえ

ば、83ページは  
どんな文型の導  
入に使えるか等  
を教師の勉強会  
などで話し合  
うという使い方も  
できます。



P. 83

適切な待遇表現の使い方が身につく

『日本語文法演習 敬語を中心とした対人関係の表現—待遇表現—』  
に ほん ご ぶん ぽう えん しゅう けい ご ちゅう しん たい じん かん けい ひょう げん たい ぐう ひょう げん

データ

1 小川蒼子美、前田直子 2 スリーエーネッ  
トワーク (〒101-0064 東京都千代田区猿楽町  
2-6-3 (松栄ビル) TEL.03-3292-5751 FAX.03-  
3292-6195 URL www.3anet.co.jp 3 2003年  
5月20日 4 4-88319-272-5 5 B5判102ページ  
6 1,365円 7 別冊解答付き

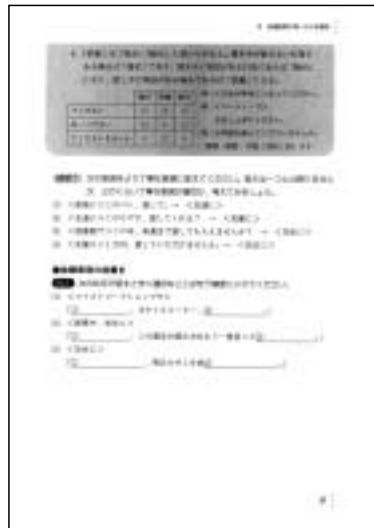
皆さんがふだん使っている言語では、親しい  
友だちと話すときと目上の人と話すときとは  
言い方に違いがありますか。また、同じ相手と  
話すときでも、お願いをするときとけんかをす  
るときとはどうでしょうか。日本語では、話  
す相手や内容によって言い方を変えるのが普通  
です。この「相手、内容、場面・状況などを考  
慮した表現」のことを待遇表現といえます。待  
遇表現は日本語母語話者でも間違えることがあ  
るので、日本語を学習する人が、「難しい、わ  
からない」と思うのも無理はありません。本書  
は日本語の基本的な文法は身につけている人が、  
さらに発展して「相手、内容、場面・状況など  
を考慮した」適切な言い方を理解するのに役立  
つ問題集です。内容は敬語が中心ですが、親し  
い人と話すときに使われる表現も含まれていま

す。  
本書の構成は大きくI. 待遇表現と敬語、II.  
様々な表現と使い方、III. 待遇表現が用いら  
れる場面、の3つに分かれています。I. は本書を  
読み進めるのに必要な言葉や知識を確認し待  
遇表現とはどんなものかを理解するための章、  
II. は練習問題を解きながら文法や文型の再整  
理をする章、最後のIII. は言葉の機能に注目し、  
場面別に正しい待遇表現を学ぶ章になっていま  
す。どの章も、〈a. ウォームアップ〉、〈b. 本  
文〉、〈c. 総合  
演習〉、〈d. ち  
よっと一息〉と  
いう流れで書か  
れており、〈c.  
の総合演習〉ま  
で進むのが一般  
的な使い方です  
が、日本語の先  
生や余力がある  
学習者は〈b.  
本文〉にある★  
のついている項  
目や〈d. ちよ

っと一息〉の発展  
問題まで進んでく  
ださい。  
適切な待遇表現  
を使うことは、よ  
りよい人間関係を  
作る助けになります。本書の学習を終えたら、  
今度は実際に使ってみるといいでしょう。



P. 56



P. 57



日本語教育の枠を超えて、日本語教育を考え直す

『日本語教師のための知識本シリーズ③人間主義の日本語教育』

データ

1 岡崎 洋三、西口 光一、山田 泉 2 凡人社  
おかきようさう さいこうこういち やまだいずみ ほんじんしゃ  
(〒102-0093 東京都千代田区平河町1-3-13 菱  
とうきょうとちよだてひらかわまち1-3-13)  
進平河町ビル1F TEL.03-3263-3959 FAX.03-  
しんひらかわまちビル1F TEL.03-3263-3959 FAX.03-  
3263-3116 URL www.bonjinsha.com 3 2003  
年6月6日 4 4-89358-541-X 5 A5判314ページ  
6 2,730円

この本は、自分の日本語教育への関わり方や、日本語教育のあり方に疑問を感じている人、あるいは仲間と共にもう一度教育自体について考え直したいと思う人に、大きな刺激とヒントを与える本です。

著者達は、日本語教育を「日本語運用力を高めることをめざす」ものではなく、「学習者や教師の人間性を重視しその成長をめざす」ものにとらえています。「うまく教えることが本当に良いことか?」「学習は教師が考えるような枠組みで常に進むようなものではなく、個性的なものである」という、新鮮で本質的な問いかけや提言が、実践報告や議論・提案の中に見られます。

14人の著者達は、日本のさまざまな現場で日本語教育に携わる日本語教師です。取り上げられる話題も日本国内の事情が背景となつていますが、世界各国で日本語教育に携わる人にとっても、社会や世界的情勢に日本語教育がどのように関わるべきかを考えるきっかけを与えてくれます。

第一部では「人間主義の日本語教育」について具体的に紹介し、学習者の個性を生かす日本語教育について述べています。

第二部から四部では、地域社会・児童生徒・留学生対象の日本語教育の実践例を紹介し、提

案を行っています。

最終章では、本通信第46号で「状況的学習論」を紹介した西口光一氏が、パフチンとオングの言語論を、新たな日本語教育を考える拠り所として紹介しています。

この本が議論の種となり、日本語教育観を根本から考え直すきっかけとなることを、著者達は意図しています。

勉強会や読書会などで取り上げるには、巻末の座談会もよい材料となるでしょう。



P.1

P.2

P.3

P.4

広い視野から言語をとらえなおしてみよう

『新世代の言語学 社会・文化・人をつなぐもの』

データ

1 飯野 公一、恩村 由香子、杉田 洋、森吉 直子 2 くらしお出版 (〒112-0002 東京都文京区小石川3-16-5 TEL.03-5684-3389 FAX.03-5684-4762 URL member.nifty.ne.jp/kurosio/ 3 2003年4月15日 4 4-87424-274-X 5 A5判248ページ 6 1,890円

これは、初めて言語学を勉強する日本の大学生を主な対象として書かれた本です。言語、ことばというものがいかに身近なものであり、さらにいかに深く社会や文化と結びついているかという点について、専門的な用語になれていない人にもわかりやすく解説されています。各章にはそこで紹介された概念についてさらに詳しく知るための参考文献一覧や、内容について考えてみるための問題がついています。

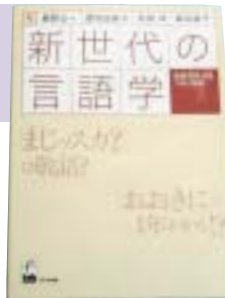
この本の特徴は、言語学の基本的な概念を、特に、社会・文化と言語との関わりに関して幅広く解説している点です。言語を形作る要素の確認から、敬語などの言語運用に関する問題、地

域方言や若者言葉などの社会的な問題、そして、アイデンティティやジェンダーといった人間存在や政治に関わる問題まで広く概観することができます。

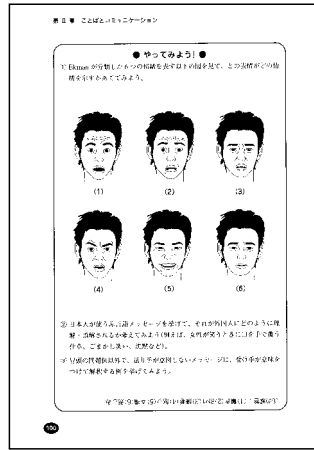
単に言語学に興味のある人だけでなく広く日本語教育に携わる人にとって重要な概念にも触れています。特に、「言語運用能力」「アコモデーション理論」「バイリンガリズム」についての章は参考になるでしょう。また、「ら抜き言葉」などのことばの変化についても、そのような変化の原因や、それに対する様々な見方が紹介されており、ことばの変化を日に日本語教育にどう反映させるか考える上で参考になるでしょう。

各章では、実際に使われていることばの例が多数あがっています。ほとんどが、最近

の日本語の状況を非常によく伝えているので、かえって海外で読む人にはわかりにくいかもしれませんが、現在の日本でのことばのとらえ方を知るための材料になると思います。



P.197



P.100

P.18～20は以下の日本語国際センター専任講師が図書を選び、分担して紹介文を執筆しました。

鳥田 徳子、木山 登茂子、押尾 和美、長坂 水晶、古川 嘉子 (執筆順)  
しまだのりこ きやまと も こ おし おかずみ ながさか みあき ふるかわよし こ しつづみ



<http://www.jin-japan.org/kidsweb/index-j.html>

今回は海外の小・中学校の生徒たちを対象として、日本の伝統文化や流行事情などを日本語と英語、その他のいろいろな言語で紹介しているホームページ「キッズウェブジャパン」(図1)を取り上げます。



図1 「キッズウェブジャパン (日本語版)」 トップページ

「キッズウェブジャパン」は、1. バーチャル・カルチャー(日本文化体験) 2. キッズギャラリー 3. ゲーム 4. 流行通信 5. エコキッズ 6. 目指せ! 明日の巨匠 7. 学校へ行こう 8. キッズどこでも探検隊という8つのコーナーによって構成されています。さらに、各コーナーではさまざまな分野における日本の代表的なものを取り上げています。ここでは、そのうちの3つのコーナーについて簡単に紹介します。

まず、「バーチャル・カルチャー」コーナーでは折り紙や生け花、書道、お琴、盆栽、ふくわらい、浮世絵、やぶさめと弓道、日本人と着物、柔道について、その歴史や種類、作法などを分かりやすく説明しています。それだけではなく、ここで取り上げられている折り紙、生け花などもすべてバーチャル体験できるようになっています。たとえば、折り紙のところをクリックすると、日本人なら誰でも一度は折ったことのある、「鶴」の折り方をゲーム感覚で体験できます。折り方をまったく知らない人でも、バーチャル体験を通して自分で折れるようになるでしょう。折り紙を持っていないければ、ダウンロードコーナーもあるので、折り線が入った紙を印刷してすぐ使えるようになっています。日本の折り紙を教えるのには大変参考になるでしょう。

また、日本の伝統的な遊びの一つ「ふくわらい」(図2)もバーチャルで挑戦できます。あなたも「バーチャルふくわらい」に挑戦してみませんか。バーチャル体験をするには、Shockwave®という専用ソフトが必要です。これは、無料でダウンロードできるフリーウェア・ソフトですので、インターネットからご使用のパソコンに取り込んでから、バーチャル体験をしてみてください。



図2 バーチャルカルチャー「ふくわらい」

次に、「流行通信」のコーナーでは、年に数回、日本の子ども達の間で流行っていることを発信しています。取り上げられている話題も音楽、ファッション、スター、タレント、アニメなど実に豊富です。また、1998年から現在までの流行が見られるので、日本の流行事情や流れなどを紹介するには便利でしょう。ちなみに、2003年1月～3月の「流行通信」はテレビアニメ「ワンピース」を取り上げています。このテレビアニメは海賊王を目指して海に出た少年ルフィ(主人公)が、いろいろな事件や事故に遭遇しますが、そのたびに個性豊かな仲間と助け合って旅を続ける話です。日本のアニメ文化が世界中で人気を集めているこの頃、授業の中で日本のテレビアニメを紹介したり、この紹介ページを見せたりすることによって、学習者たちの日本語学習の動機付けにもなるでしょう。

最後に、皆さんは生徒から「日本の小・中学校にはどんな授業がありますか」「日本の生徒達はどんな課外活動に参加していますか」など、よく聞かれますか。

「学校へ行こう」のコーナーでは、日本のいろいろな小・中学校の授業や課外活動、年中行事、友達との話題などを写真付で紹介しています。また、それぞれの学校についてコメントを送ることもできるので、学習者に感想文を書かせてメールで送ると、日本の小・中学生との交流も生まれるでしょう。

# 文法をやさしく

ぶん ぼう

## 第7回 V<sup>1</sup>ためにV<sup>2</sup> / V<sup>1</sup>ようにV<sup>2</sup>

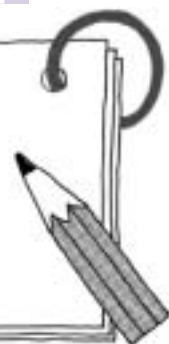
だい かい

学習段階：初級後半～中級前半

がくしゅうだん かい しょきゅうこう はん ちゅうきゅうぜん はん

キーワード：目的、意志性、複文

もくてき い し せい ふくぶん



今回は、目的の意味を表す二つの文型を整理して、比べてみたいと思います。

### 1. V<sup>1</sup>ためにV<sup>2</sup>

新聞に、日本人の働く目的などを調べた世論調査の記事が載っていました。ちょっと読んでみましょう。

働く目的については49.5%が「**a** お金を得るために働く」と回答した。「**b** 社会の一員として、務めを果たすために働く」が11.7%、「**c** 自分の才能や能力を發揮するために働く」が9.6%で、「**d** 生きがいを見つけるために働く」は22.5%だった。」

『東京新聞』2003年9月10日朝刊 p. 8  
『「お金」派や減り『生きがい』派増加』より

a～dの例で点線をひいた部分、たとえば「お金を得る」ことや、「生きがいを見つけること」は、回答した人たちが、それぞれ働いて実現したいと思っていることだからです。つまり「働く」という動作の目的になっています。

a～dでは、目的の部分と「働く」という動作の部分が「ために」でつながっていますが、書きことばで「ため」だけになることもあります(→d')。その場合も、意味は変わりません。

d' 生きがいを見つけるため働く。

また、下のような文型で、目的が何かを質問することができます。

e 何のために働きますか。

### 2. V<sup>1</sup>ようにV<sup>2</sup>

次に、「V<sup>1</sup>ようにV<sup>2</sup>」で表す目的の文を見てみましょう。次の文章は小鳥の飼いの本から引用したものです。

また、日ごろから、**f** ビタミンAが不足しないように、小松菜など、緑の濃い野菜を与えましょう。

**g** いち早く、異常に気づくことができるように、トリのようすをよく観察し、…中略…注意しましょう。

小松菜……ほうれん草に似た、野菜の一種  
アニファブックス 4 『-わが家の動物・完全マニュアル-インコ』  
p.109 1.15-21 (スタジオ・エス2000)

f、gの例も、点線をひいた部分で、実現したいことを表し、「ように」のあとに、すべき動作が示されています。

また、この文型でも「ように」のかわりに「よう」だけ用いられることがあります。

f' ビタミンAが不足しないよう…緑の濃い野菜を与えましょう。

ただし、「ように」を使って、目的が何かを質問する疑問の形はありません(→h)。

h {どの/何の} ように小松菜など緑の濃い野菜を与えますか。(??)

### 3. 学習者の間違いやすい点

1.と2.で紹介した文型は、どちらも中級の前半までには学習しますが、両方とも目的の表現で意味が似ているので、学習者が間違いやすくなっています。たとえば、aやbを「V<sup>1</sup>ようにV<sup>2</sup>」の文に置き換えることはできるでしょうか。

a' お金を得るように働く。(??)

b' 社会の一員として、務めを果たすように働く。(??)

どれも不自然な文になってしまいましたね。もう少し変えると「V<sup>1</sup>ようにV<sup>2</sup>」の文型が使えます。

a'' お金を得ることができるように働く。

b” 社会の一員として、務めが果たせるように働く。

a” や b” の点線の部分に注意してください。

目的を表す二つの表現を間違えずに使うにはどんなことに気をつければよいでしょうか。

#### 4. 目的の意味を表す文型と意志性

では、「ために」「ように」の前のことばに注意して例文を見てみましょう。

① 立派なお医者さんになるために、一生懸命勉強しています。



② うれしいニュースを早く知らせるために電話をかけた。

③ 外国語を勉強するために、辞書を買いました。

④ よく眠れるように寝る前にお風呂に入ります。

⑤ いつでも使えるように使った道具はかたづけておきます。

⑥ どうぼうに入れないようにかぎを二つかけます。

「ために」の文①②③と、「ように」の文④⑤

⑥の違いは何でしょうか。

「立派なお医者さんになる」「ニュースを知らせる」「外国語を勉強する」は、自分の意志でそれをするかしないかを決めたり選んだりできることがらです。目的の文型で使う「ために」はこのような意志性のあることがらを表すことばの非過去の普通形に接続します。

それに対して「よく眠れる」「いつでも使える」「どうぼうに入れない」は、どうでしょうか。この三つの共通点は、上で述べたような意志性がないことです。たとえば、「眠る」という動詞は、前後の文脈によって意志性をもつ場合と持たない場合がありますが、「よく眠れる」では意志性が完全になくなります。また、「どうぼう

うに入れない」も意志性がありません。つまり、「ように」は意志性のないことがらを表すことばの非過去の普通形に接続します。

一つの文(始まりから「。」まで)の中に、二つ以上の節がある文を複文といいます。今回勉強した目的を表す文型では、目的を表す節に意志性があるかないかを考えてください。初級後半の時期に意志性と文型の使い方の関係に気づいておくことは中級へ向かう学習者にとって大切なことです。

#### クイズ

(a) ~ (b) に「ために」と「ように」のどちらを入れますか。答えは同ページの下にあります。

#### 場面1: 昔の紙芝居についての紹介文

紙芝居屋さんは40年ぐらいまで、町で子どもたちに絵を見せながらおもしろい話を聞かせていました。紙芝居屋さんは子どもたちを集める(a)たいこを叩いたり、お菓子を売ったりしました。



場面2: 『日本語教育通信』の編集者と読者が話しています。

読者: 『通信』のふりがなはどうして下についているんですか。

編集者: 漢字の読み方の練習ができる(b)下についているんですよ。

#### 参考文献

庵功雄ほか『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』(2000)スリーエーネットワーク

このコーナーについて感想や質問があれば送ってください。

担当者: 荒川みどり (日本語国際センター客員講師)、木山登茂子 (日本語国際センター専任講師)

荒川みどり (日本語国際センター客員講師)、木山登茂子 (日本語国際センター専任講師)



# NEWS

## ニュース

### 『世界の日本語教育』第15号 投稿論文の募集

外国語あるいは第二言語としての日本語教育に関心のある方々のための学術論文集である『世界の日本語教育<論集>』は、1991年より毎年1号刊行されてきました。その後、1994年に、世界各地の日本語教育事情を紹介する報告集『世界の日本語教育<事情報告編>』刊行も始まり、こちらはほぼ隔年で発行を続けてきました。

このたび、当基金が2003年10月1日付けで独立行政法人となったことにも進められている様々な改革及び合理化の一環として、<事情報告編>は近々刊行予定の第7号をもって基本的に廃刊し、投稿部分のみを<論集>へ吸収合併することとなりました。両誌の合併は2004年度に投稿論文の募集を行います<論集>第15号より、開始されます。

投稿部門として、従来の<論集>が対象としていた論文を扱う<学術論文部門>と、従来の<事情報告編>が対象としていた報告を扱う<実践・事情報告部門>の2部門を設けました。両部門は、「投稿を期待する論文内容」と「採用予定本数」が異なります。

ここに、従来の投稿案内から大きく変更となる部分のみ掲載いたします。全容は、2004年2月初旬にウェブサイト等で公表いたしますので、投稿を予定されている方は、是非そちらもご覧くださいませようお願いいたします（インターネットの利用が難しい方は、文末にある連絡先へお問い合わせください）。

#### （変更点1）投稿を期待する論文内容：

次の何れかの分野で未発表のものに限ります。一執筆者一部門のみの投稿しか受け付けません。

#### <学術論文部門>

- 日本語教育  
教授法、カリキュラム・デザイン、学習環境、評価、第一及び第二言語習得、文化等のテーマで、日本語教育に関する学術論文
- 日本語研究及び関連分野  
日本語学、社会言語学、心理言語学、対照言語学に関する学術論文（日本語教育にとって有用な論考を歓迎します。）

#### <実践・事情報告部門>

- 日本語教育に関する実践報告
- 世界各地の日本語教育事情に関する報告（通史的に概観・要約した報告ではなく、特定の時代、分野、方法等に焦点を当てた、独創的な着眼点を持つ報告を求めます。）

#### （変更点2）採用予定本数：

それぞれの部門の投稿本数によって変動しますが、両部門あわせて15本程度とします。<学術論文部門>8~12本 <実践・事情報告部門>5~3本

（変更点3）論文提出締切日：2004年6月30日（必着）

#### （変更点4）連絡先（問合わせ及び論文提出先）

2004年3月31日までは、従来どおり当基金日本語国際センター情報交流課（E-mail: ncjoho@jpf.go.jp, Tel: 048-834-1184, Fax: 048-830-1588, 住所: 〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-36）へお願いします。

2004年4月1日以降は、担当の情報交流課が他課と統合される予定のため、当基金本部総務課（Tel: 03-5562-3511, Fax: 03-5562-3494, 住所: 〒107-6021 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル21F）へ連絡を取り、転送してもらってください。

投稿案内は、2月初旬に、<http://www.jpf.go.jp/j/urawa/index.html>に掲載します。

### 2003年度日本語能力試験

昨年12月7日（日）に、2003年度の日本語能力試験が、当基金、(財)日本国際教育協会の共催で実施されました。

この試験は、日本国内外において、原則として日本語を母語としない人を対象に、習得した日本語の能力を客観的に測定し、その能力を認定することを目的としています。1984年から実施されており、今回で20回目を迎えました。

今回は国外38の国・地域の88都市、日本国内19都道府県で実施され、総計320,987人（昨年度比約12.2%増）の応募者がありました。

各級の応募者数については別表のとおりです。

級別	2003年度 応募者数(人)	2002年度 応募者数(人)	伸び率 前年度比	
国外	1級	62,820	54,928	14.4%
	2級	77,663	67,302	15.4%
	3級	75,873	67,951	11.7%
	4級	43,682	40,757	7.2%
	小計	260,038	230,938	12.6%
国内	1級	36,353	32,818	10.8%
	2級	14,357	12,536	14.5%
	3級	7,357	7,097	3.7%
	4級	2,882	2,779	3.7%
小計	60,949	55,230	10.4%	
合計	320,987	286,168	12.2%	

### 第5回しずおか世界翻訳 コンクール応募作品募集



グローバル化の進展とともに国際文化交流の重要性が日々高まる今日、日本を知ってもらうためには、日本人の文化や価値観を伝える日本文学を翻訳し、日本語を解さない方々に読んでいただくことが有効であると考えます。しかし、御存知のとおり日本語の習得は難しく、さらに日本文学を世界に紹介できる優秀な翻訳家の数は多くありません。

そこで、静岡県では、かねてから優秀な若手翻訳家の不在を憂えていた、日本研究の第一人者であるドナルド キーン氏（コロンビア大学名誉教

授・しずおか世界翻訳コンクール審査委員長）に全面的な協力を仰ぐとともに、外務省、文化庁、国際交流基金及び自治体国際化協会の後援を受け、1995年から、若い人材の発掘・育成を目的とし、「しずおか世界翻訳コンクール」を開催しています。

第5回コンクールは英語とロシア語が対象です。

- 資格：国籍・年齢不問。ただし、かつて文芸作品の翻訳出版をしたことのある人は審査対象外。共訳は不可。
- 翻訳言語：英語またはロシア語（どちらか1言語選択する）
- 翻訳課題：次の課題図書の中から小説1編、評論1編を選択し、2編を1組として翻訳する。

#### <課題図書>

	作品/著者	出典
小説	「ある心の風景」 (梶井基次郎)	『日本文学全集第37巻』 (集英社)
	「驟り雨」 (藤沢周平)	「驟り雨」 (新潮文庫)
	「サマーブランケット」 (江國香織)	「泳ぐのに、安全でも適切でもありません」 (集英社)
評論	「トルストイについて(一)」 (正宗白鳥)	『日本文学全集第12巻』 (筑摩書房)
	「論語読み」の愉しみ (宮崎市定)	『論語の新しい読み方』 (岩波現代文庫)
	「科学と知的好奇心」 (池澤夏樹)	『海図と航海日誌』 (スイッチ・パブリッシング)

(4) 応募締切：2004年12月10日

(5) 賞：最優秀賞 各言語で1名  
賞金100万円と日本留学助成金（1年間）

#### (6) 審査委員：

##### 審査委員長（英語）

ドナルド・キーン（コロンビア大学名誉教授）

##### 審査委員（英語）

大岡 信（詩人、文芸批評家）

ジャーニオン・バイチマン（大東文化大学教授）

##### 審査委員（ロシア語）

沼野充義（東京大学助教授）

グリゴリー・チハルシヴィリ（作家・日本文学者）

#### (7) 問い合わせ先：

詳細については、以下のウェブサイトをご覧になるか、事務局に資料を請求してください。

URL <http://www1.sphere.ne.jp/shizuoka>

Eメール [shizuoka@po.sphere.ne.jp](mailto:shizuoka@po.sphere.ne.jp)

TEL. 054-221-3109

FAX. 054-250-2784

郵便での資料請求は、以下の住所にお願いします。

〒420-8601 静岡県静岡市追手町9番6号

静岡県教育委員会文化課

伊豆文学フェスティバル実行委員会事務局

### 『日本語教育通信』 第48号

2004年1月発行

編集・発行 独立行政法人 国際交流基金

日本語国際センター 情報交流課

〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和

5-6-36

The Japan Foundation

Japanese-Language Institute, Urawa

(6-36 Kita-Urawa 5 Chome, Urawa-ku,

Saitama-shi, Saitama 330-0074, Japan)

TEL. 048-834-1184 FAX. 048-830-1588

E-Mail [jfnckt@jpf.go.jp](mailto:jfnckt@jpf.go.jp)

#### 編集協力

財団法人 国際文化交流推進協会

Japan Association for Cultural Exchange

(ACE Japan)

(表紙イラスト：村井宗二) 古紙100%再生紙使用